

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	特化型
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドの投資信託証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが行います。また、カバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。</p>	
主要運用対象	三菱UFJ/AMP オーストラリア REITファンド 〈Wプレミアム〉 (毎月決算型)	AMP オーストラリア リート ファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	AMP オーストラリア リート ファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引を主要投資対象とします。
	マネー・ マーケット・ マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ/AMP オーストラリア REITファンド 〈Wプレミアム〉（毎月決算型）

愛称：コアランド



第13期（決算日：2016年4月15日）
 第14期（決算日：2016年5月16日）
 第15期（決算日：2016年6月15日）
 第16期（決算日：2016年7月15日）
 第17期（決算日：2016年8月15日）
 第18期（決算日：2016年9月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド〈Wプレミアム〉（毎月決算型）」は、去る9月15日に第18期の決算を行いましたので、法令に基づいて第13期～第18期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

投資対象ファンドのご報告

◇AMP オーストラリア リート ファンド	15
◇マネー・マーケット・マザーファンド	19

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 債 券 投 資 信 託 純 資 産 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 証 組 入 比 率	託 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金						
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	百万円
2015年3月20日	10,000	—	—	—	—	—	—	11,639
1期(2015年4月15日)	9,810	—	△1.9	0.1	—	99.7	—	16,546
2期(2015年5月15日)	9,926	—	1.2	0.1	—	98.8	—	18,469
3期(2015年6月15日)	9,905	—	△0.2	0.1	—	99.0	—	20,216
4期(2015年7月15日)	9,618	130	△1.6	0.1	—	99.0	—	20,123
5期(2015年8月17日)	9,487	130	△0.0	0.1	—	99.0	—	20,084
6期(2015年9月15日)	8,589	130	△8.1	0.0	—	99.0	—	18,320
7期(2015年10月15日)	8,591	130	1.5	0.1	—	99.0	—	16,830
8期(2015年11月16日)	8,594	130	1.5	0.1	—	99.0	—	15,783
9期(2015年12月15日)	8,589	130	1.5	0.1	—	99.0	—	14,832
10期(2016年1月15日)	8,037	130	△4.9	0.1	—	99.0	—	13,165
11期(2016年2月15日)	7,886	130	△0.3	0.1	—	99.0	—	12,351
12期(2016年3月15日)	8,408	130	8.3	0.1	—	99.0	—	12,631
13期(2016年4月15日)	8,419	130	1.7	0.1	—	98.4	—	12,235
14期(2016年5月16日)	8,129	130	△1.9	0.0	—	99.0	—	11,735
15期(2016年6月15日)	8,003	130	0.0	0.0	—	99.0	—	11,836
16期(2016年7月15日)	8,507	130	7.9	0.0	—	99.1	—	12,754
17期(2016年8月15日)	8,049	130	△3.9	0.0	—	98.7	—	11,890
18期(2016年9月15日)	7,363	130	△6.9	0.0	—	98.9	—	11,050

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第3期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用し値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第13期	(期 首)	円	%	%	%	%	%	%
	2016年3月15日	8,408	—	0.1	—	—	99.0	
	3月末	8,606	2.4	0.1	—	—	98.0	
第14期	(期 末)							
	2016年4月15日	8,419	—	0.1	—	—	98.4	
	4月末	8,475	0.7	0.1	—	—	99.0	
第15期	(期 首)							
	2016年5月16日	8,259	△1.9	0.0	—	—	99.0	
	5月末	8,129	—	0.0	—	—	99.0	
第16期	(期 末)							
	2016年6月15日	8,133	0.0	0.0	—	—	99.0	
	6月末	8,024	0.3	0.0	—	—	99.0	
第17期	(期 首)							
	2016年7月15日	8,637	7.9	0.0	—	—	99.1	
	7月末	8,507	—	0.0	—	—	99.1	
第18期	(期 末)							
	2016年8月15日	8,179	△3.9	0.0	—	—	98.7	
	8月末	8,049	—	0.0	—	—	98.7	
第19期	(期 首)							
	2016年9月15日	7,493	△6.9	0.0	—	—	98.9	
	8月末	8,104	0.7	0.0	—	—	99.3	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

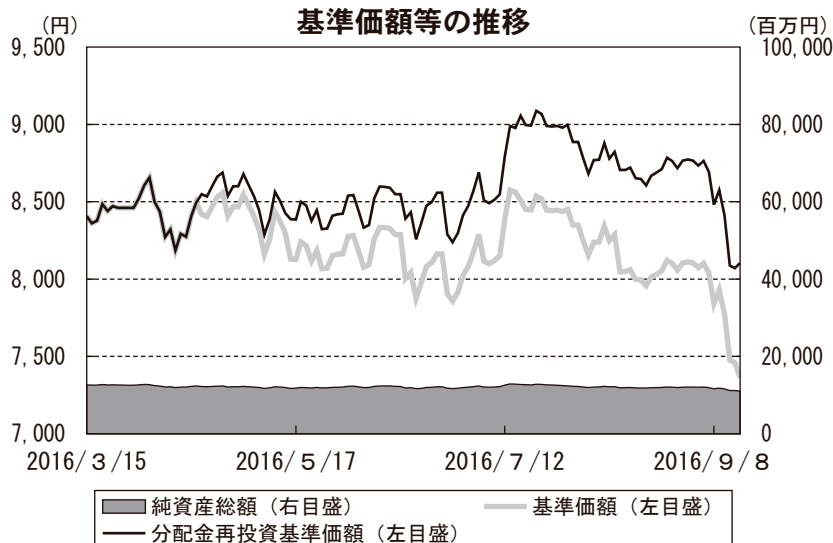
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第13期～第18期：2016/3/16～2016/9/15)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.6% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

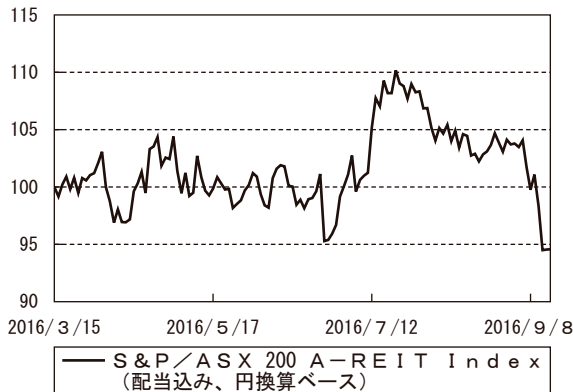
上昇要因	オプション・プレミアム収入を獲得したほか、オーストラリアREIT(不動産投資信託証券)市況がローカルベースで上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことやオーストラリアのREIT指数が上昇した局面で発生した同指数のコール・オプションの売却に係る損失などが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第13期～第18期：2016/3/16～2016/9/15)

(ご参考)

オーストラリアREIT市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

◎オーストラリアREIT市況

・RBA (豪州連邦準備銀行)による金融緩和策を受けた長期金利の低下に加え、国内経済の回復期待やリートが決算が総じて堅調な内容を示したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況はローカルベースで上昇しました。

◎為替市況

・日銀の金融政策に対する不透明感やRBAによる政策金利の引き下げに加え、イギリスのEU (欧州連合) 離脱の決定などを受けたリスク回避的な動きなどから、豪ドルは円に対して下落しました。

◎国内短期金融市場

・当作成期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート (無担保・翌日物) は、2016年1月末に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」で決定した-0.1%金利の適用開始以降であることから、概ねマイナス圏で推移しました。9月15日のコール・レートは-0.065%となりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)>

・当ファンドは、外国投資信託であるAMP オーストラリア リート ファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

<AMP オーストラリア リート ファンド>

基準価額は当作成期首に比べ3.2% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

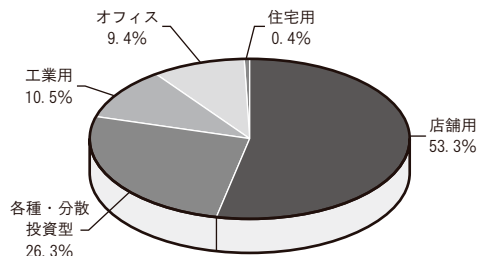
- ・オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行うとともに、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用する運用を行いました。
- ・投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。
- ・個別銘柄では、堅調な業績見通しを発表した各種・分散投資型REITの「MIRVAC GROUP」や店舗用REITの「SCENTRE GROUP」などが上昇しました。
- ・当作成期においては、オプション・プレミアム収入を獲得したことやオーストラリアREIT市況がローカルベースで上昇したことはプラスとなったものの、豪ドルが対円で下落したことやオーストラリアのREIT指数が上昇した局面で発生した同指数のコール・オプションの売却に係る損失などがマイナスとなり、基準価額 (分配金再投資ベース) は下落しました。

下記は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの資料（現地月末前営業日基準）に基づき作成したAMP オーストラリア リート ファンドの不動産投資信託証券部分の状況です。

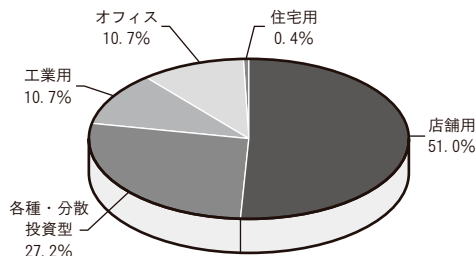
(ご参考)

用途別構成比率

2016年2月末



2016年8月末



(注) 比率はREIT評価額に対する割合です。

(注) GICS (世界産業分類基準) に基づいてAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの分類で表示しています。

下記は、クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッドの資料（現地月末前営業日基準）に基づき作成したAMP オーストラリア リート ファンドのカバード・コール戦略部分の状況です。

(ご参考)

ポートフォリオ特性値

2016年2月末

【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	12.7%
カバー率	49.7%
平均権利行使価格	100.6%
平均権利行使期間	29日

2016年8月末

【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	7.6%
カバー率	49.7%
平均権利行使価格	100.0%
平均権利行使期間	31日

【豪リート カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	12.6%
カバー率	49.7%
平均権利行使価格	99.6%
平均権利行使期間	29日

【豪リート カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	7.7%
カバー率	49.7%
平均権利行使価格	100.4%
平均権利行使期間	31日

- ・オプション・プレミアムは、円建外国投資信託の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です。
- ・カバー率は、円建外国投資信託の純資産総額に対するオプションのポジションです。
- ・平均権利行使価格は、原資産価格に対する権利行使価格の水準（現地月末前営業日基準）です。
- ・平均権利行使期間は、オプション権利行使日までの平均日数です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

- ・ 残存期間の短い国債や社債などを組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどから、基準価額は上昇となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ 当ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用し値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・ 従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
当期分配金	130	130	130	130	130	130
(対基準価額比率)	1.521%	1.574%	1.598%	1.505%	1.589%	1.735%
当期の収益	130	130	130	130	130	130
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	909	966	1,016	1,062	1,114	1,144

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、外国投資信託への投資を通じてオーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

<AMP オーストラリア リート ファンド>

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリアREITについては、足下はREIT価格の高値警戒感などを背景に利益確定売りの動きが散見されるものの、RBAの金融緩和策などを受けた国内経済の回復が実物不動産市場の下支えになるとみています。また、住宅市場に関しては成長の鈍化や一部の銀行が不動産向け融資に対して慎重な姿勢を示していたことが確認されたものの、足下は投資家からの需要の高まりなどを背景に住宅市場は回復の兆しを見せており、着実な成長が期待されます。

◎今後の運用方針

- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、相対的に堅調な内需の恩恵を受けやすい店舗用REITに注目しており、小売りの事業環境が良好なシドニーやメルボルンといった都市地域の恩恵を享受できるREITについては、選別的な投資機会を提供するものとして積極的な見方をしていきます。オフィス用REITは、シドニーなどに位置する優良な物件を中心にテナントからの需要が高く、空室率も低水準であることなどから、今後の賃料上昇や長期的な資産価値の上昇が期待されます。個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目します。
- ・また、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が下落したことや為替が円高に推移した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、コール・ローン等短期金融商品や残存期間の短い社債などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月16日～2016年9月15日)

項 目	第13期～第18期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(17)	(0.200)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	45	0.539	
作成期中の平均基準価額は、8,323円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月16日～2016年9月15日)

投資信託証券

銘 柄	第13期～第18期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	千口	千円	千口	千円
AMP オーストラリア リート ファンド	335	2,428,498	278	2,049,580

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月16日～2016年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年9月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第12期末		第18期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
AMP オーストラリア リート ファンド			千口		千口	千円	%
			1,633		1,689	10,934,058	98.9
合	計		1,633		1,689	10,934,058	98.9

(注) 比率は三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第12期末		第18期末		
		口	数	口	数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド			千口		千口	千円
			11,293		11,293	11,501

○投資信託財産の構成

(2016年9月15日現在)

項	目	第18期末	
		評 価 額	比 率
投資信託受益証券		千円	%
		10,934,058	96.9
マネー・マーケット・マザーファンド		11,501	0.1
コール・ローン等、その他		336,837	3.0
投資信託財産総額		11,282,396	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末	第17期末	第18期末
	2016年4月15日現在	2016年5月16日現在	2016年6月15日現在	2016年7月15日現在	2016年8月15日現在	2016年9月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	12,521,075,215	11,971,069,051	12,130,152,467	13,027,891,747	12,101,886,036	11,282,396,860
コール・ローン等	151,699,815	213,962,482	181,180,975	158,710,097	202,166,890	210,477,225
投資信託受益証券(評価額)	12,042,526,529	11,619,386,569	11,718,120,362	12,639,140,520	11,738,549,146	10,934,058,505
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	11,498,871	11,500,000	11,501,130	11,501,130	11,500,000	11,501,130
未収入金	315,350,000	126,220,000	219,350,000	218,540,000	149,670,000	126,360,000
(B) 負債	285,431,122	235,074,098	293,532,019	273,175,806	211,415,089	231,762,078
未払収益分配金	188,937,951	187,693,112	192,277,910	194,903,116	192,033,583	195,098,373
未払解約金	85,064,529	36,290,684	90,555,370	67,572,989	8,004,650	25,770,395
未払信託報酬	11,394,296	11,056,333	10,666,307	10,667,354	11,342,420	10,860,249
未払利息	—	395	285	197	250	330
その他未払費用	34,346	33,574	32,147	32,150	34,186	32,731
(C) 純資産総額(A－B)	12,235,644,093	11,735,994,953	11,836,620,448	12,754,715,941	11,890,470,947	11,050,634,782
元本	14,533,688,545	14,437,931,698	14,790,608,468	14,992,547,449	14,771,814,112	15,007,567,215
次期繰越損益金	△ 2,298,044,452	△ 2,701,936,745	△ 2,953,988,020	△ 2,237,831,508	△ 2,881,343,165	△ 3,956,932,433
(D) 受益権総口数	14,533,688,545口	14,437,931,698口	14,790,608,468口	14,992,547,449口	14,771,814,112口	15,007,567,215口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,419円	8,129円	8,003円	8,507円	8,049円	7,363円

○損益の状況

項 目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	277,651,719	277,833,315	267,254,845	260,208,031	271,423,083	244,341,753
受取配当金	277,651,719	277,843,308	267,263,635	260,217,003	271,430,989	244,349,583
受取利息	—	—	181	88	149	—
支払利息	—	△ 9,993	△ 8,971	△ 9,060	△ 8,055	△ 7,830
(B) 有価証券売買損益	△ 62,428,700	△ 498,525,398	△ 254,719,086	694,596,359	△ 738,833,048	△ 1,062,610,053
売買益	6,268,699	2,202,072	3,951,827	700,615,292	17,506,704	6,504,732
売買損	△ 68,697,399	△ 500,727,470	△ 258,670,913	△ 6,018,933	△ 756,339,752	△ 1,069,114,785
(C) 信託報酬等	△ 11,428,642	△ 11,089,907	△ 10,698,454	△ 10,699,504	△ 11,376,606	△ 10,892,980
(D) 当期損益金(A+B+C)	203,794,377	△ 231,781,990	1,837,305	944,104,886	△ 478,786,571	△ 829,161,280
(E) 前期繰越損益金	△ 2,076,683,448	△ 2,009,580,032	△ 2,346,097,314	△ 2,443,874,241	△ 1,605,991,216	△ 2,205,800,470
(F) 追加信託差損益金	△ 236,217,430	△ 272,881,611	△ 417,450,101	△ 543,159,037	△ 604,531,795	△ 726,872,310
(配当等相当額)	(184,633,129)	(207,325,410)	(289,332,127)	(359,753,423)	(406,269,348)	(477,479,387)
(売買損益相当額)	(△ 420,850,559)	(△ 480,207,021)	(△ 706,782,228)	(△ 902,912,460)	(△ 1,010,801,143)	(△ 1,204,351,697)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,109,106,501	△ 2,514,243,633	△ 2,761,710,110	△ 2,042,928,392	△ 2,689,309,582	△ 3,761,834,060
(H) 収益分配金	△ 188,937,951	△ 187,693,112	△ 192,277,910	△ 194,903,116	△ 192,033,583	△ 195,098,373
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,298,044,452	△ 2,701,936,745	△ 2,953,988,020	△ 2,237,831,508	△ 2,881,343,165	△ 3,956,932,433
追加信託差損益金	△ 236,217,430	△ 272,881,611	△ 417,450,101	△ 543,159,037	△ 604,531,795	△ 726,872,310
(配当等相当額)	(184,633,129)	(207,325,414)	(289,332,145)	(359,753,431)	(406,269,359)	(477,479,392)
(売買損益相当額)	(△ 420,850,559)	(△ 480,207,025)	(△ 706,782,246)	(△ 902,912,468)	(△ 1,010,801,154)	(△ 1,204,351,702)
分配準備積立金	1,136,957,915	1,188,461,517	1,213,655,710	1,233,313,040	1,239,613,177	1,240,786,846
繰越損益金	△ 3,198,784,937	△ 3,617,516,651	△ 3,750,193,629	△ 2,927,985,511	△ 3,516,424,547	△ 4,470,846,969

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 15,023,375,434円

 作成期中追加設定元本額 3,302,872,765円

 作成期中一部解約元本額 3,318,680,984円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7363円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,956,932,433円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
費用控除後の配当等収益額	266,225,221円	266,746,356円	256,559,212円	257,294,484円	260,048,472円	233,450,253円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	184,633,129円	207,325,414円	289,332,145円	359,753,431円	406,269,359円	477,479,392円
分配準備積立金額	1,059,670,645円	1,109,408,273円	1,149,374,408円	1,170,921,672円	1,171,598,288円	1,202,434,966円
当ファンドの分配対象収益額	1,510,528,995円	1,583,480,043円	1,695,265,765円	1,787,969,587円	1,837,916,119円	1,913,364,611円
1万口当たり収益分配対象額	1,039円	1,096円	1,146円	1,192円	1,244円	1,274円
1万口当たり分配金額	130円	130円	130円	130円	130円	130円
収益分配金金額	188,937,951円	187,693,112円	192,277,910円	194,903,116円	192,033,583円	195,098,373円

○分配金のお知らせ

	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
1 万口当たり分配金 (税込み)	130円	130円	130円	130円	130円	130円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2016年9月15日現在)

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(6,223,580千円)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第18期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	1,077,900 (1,077,900)	1,080,873 (1,080,873)	17.1 (17.1)	— (—)	— (—)	— (—)	17.1 (17.1)
合 計	1,077,900 (1,077,900)	1,080,873 (1,080,873)	17.1 (17.1)	— (—)	— (—)	— (—)	17.1 (17.1)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第18期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,061	2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	200,726	2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,146	2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,230	2016/12/2
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,041	2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,276	2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,393	2017/1/27
合 計		1,077,900	1,080,873	

国内その他有価証券

区 分	第18期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 4,999,987	% 78.9

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	AMP オーストラリア リート ファンド	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長をめざします。また、原則として円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。 ・オーストラリア国債への投資比率は、取得時において純資産総額の10%以内とします。 ・対円での為替ヘッジは行いません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	毎年9月30日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAUDITED REPORT FOR THE PERIOD FROM MARCH 20, 2015 TO SEPTEMBER 30, 2015版から抜粋して作成しています。

(1) 運用計算書

(A) AMP オーストラリア リート ファンド

(2015年3月20日～2015年9月30日)

AMP オーストラリア
リート ファンド
円

投資収入：	
純配当収入	399,869,502
預金利息	1,699,313
その他収入	177
	<hr/>
	401,568,992
費用：	
管理費用、保管費用	(12,314,352)
代行費用、マネジャー費用	(19,601,180)
その他費用	(3,807,175)
その他税金	(811,252)
監査報酬	(2,526,399)
副マネージャー費用	(43,122,583)
副保管費用	(1,909,646)
受託費用	(646,035)
	<hr/>
	(84,738,622)
投資純収入	<hr/>
	316,830,370
実現純利益（損失）：	
実現純利益（損失） 投資有価証券	(302,584,598)
実現純利益（損失） その他資産、負債の外貨換算	(75,766,296)
実現純利益（損失） 為替予約	(44,361,798)
実現純利益（損失） オプション	1,111,348,992
	<hr/>
実現純利益（損失）	<hr/>
	688,636,300
未実現評価益（評価損）の純変動：	
投資有価証券	(2,867,474,037)
為替予約	539,185
その他資産、負債の外貨換算	(632,030)
オプション	(335,227,691)
	<hr/>
	(3,202,794,573)
運用による純資産の純増（減）額	<hr/>
	(2,197,327,903)

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

24頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

AMP オーストラリア リート ファンド

(2015年3月20日～2015年9月30日)

AMP オーストラリア
リート ファンド

円

期首純資産	—
投資純収入	316,830,370
実現純利益(損失) :	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(302,584,598)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	(75,766,296)
実現純利益(損失) 為替予約	(44,361,798)
実現純利益(損失) オプション	1,111,348,992
	688,636,300
未実現評価益(評価損)の純変動 :	
投資有価証券	(2,867,474,037)
為替予約	539,185
その他資産、負債の外貨換算	(632,030)
オプション	(335,227,691)
	(3,202,794,573)
出資	23,351,234,394
償還	(1,783,750,000)
分配金額	(2,345,064,394)
	19,222,420,000
期末純資産	17,025,092,097

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券明細表

(A) AMP オーストラリア リート ファンド

(2015年9月30日現在)

銘柄	通貨	口数	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT IN ON ANOTHER REGULATED MARKET					
REAL ESTATE INVESTMENT TRUST					
<i>AUSTRALIA</i>					
ABACUS PROPERTY GROUP	AUD	243,771	66,329,330	64,992,460	0.38%
BWP TRUST	AUD	316,338	90,843,010	82,211,297	0.48%
CHARTER HALL GROUP	AUD	1,202,523	562,072,871	439,950,997	2.58%
CHARTER HALL RETAIL REIT	AUD	112,389	45,914,385	38,471,569	0.23%
CROMWELL PROPERTY GROUP	AUD	495,490	52,542,616	40,006,244	0.23%
DEXUS PROPERTY GROUP	AUD	1,968,974	1,398,856,827	1,184,043,603	6.95%
FEDERATION CENTRES	AUD	5,461,285	1,571,884,724	1,258,540,142	7.39%
GOODMAN GROUP	AUD	3,391,475	1,961,776,686	1,668,653,431	9.80%
GPT GROUP/THE	AUD	3,534,976	1,506,784,430	1,340,863,905	7.88%
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA LTD	AUD	80,998	24,428,168	21,254,483	0.13%
INGENIA COMMUNITIES GROUP	AUD	2,647,938	95,961,533	96,876,566	0.57%
INVESTA OFFICE FUND	AUD	1,375,572	506,140,506	455,828,234	2.68%
MIRVAC GROUP	AUD	9,880,842	1,840,748,869	1,429,368,068	8.40%
SCENTRE GROUP	AUD	11,320,752	4,071,984,604	3,713,313,024	21.81%
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GROUP	AUD	936,653	182,116,283	153,615,492	0.90%
STOCKLAND	AUD	5,154,083	2,170,414,709	1,668,913,369	9.80%
WESTFIELD CORP	AUD	4,156,375	3,860,808,308	3,485,230,938	20.48%
			20,009,607,859	17,142,133,822	100.69%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			20,009,607,859	17,142,133,822	100.69%
CASH AT BANKS				134,589,790	0.79%
UNREALIZED DEPRECIATION ON FORWARD FOREIGN EXCHANGE CONTRACTS				(601,909)	0.00%
UNREALIZED APPRECIATION ON FORWARD FOREIGN EXCHANGE CONTRACTS				1,141,094	0.00%
INVESTMENTS IN OPTIONS				(335,227,691)	-1.97%
OTHER NET LIABILITIES				83,056,991	0.49%
TOTAL NET ASSETS				17,025,092,097	100.00%

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

22頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第23期》決算日2016年5月20日

[計算期間：2015年11月21日～2016年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産総額
19期(2014年5月20日)	10,180	0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183	0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2015年11月20日	10,185	—	91.2	—	—
11月末	10,184	△0.0	59.9	—	—
12月末	10,183	△0.0	93.0	—	—
2016年1月末	10,183	△0.0	98.5	—	—
2月末	10,183	△0.0	50.5	—	—
3月末	10,182	△0.0	68.5	—	—
4月末	10,183	△0.0	67.0	—	—
(期末) 2016年5月20日	10,183	△0.0	39.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

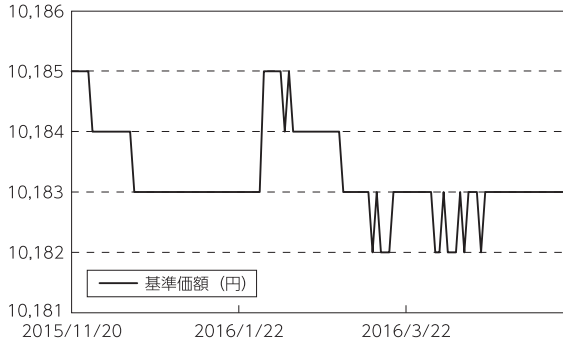
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。2016年1月末に日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、日銀当座預金のうち政策金利残高に適用する金利を-0.1%としました。コール・レート(無担保・翌日物)は、当該金利にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、5月20日のコール・レートは-0.053%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が小幅に下落したことなどから基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い社債などに投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月21日～2016年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月21日～2016年5月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,120,795	千円 20,330,370 (7,992,600)
	特殊債券	601,257	— (200,000)
	社債券	1,586,979	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 68,999,961	千円 65,999,968

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月21日～2016年5月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 4,809	百万円 —	% —	百万円 19,830	百万円 1,999	% 10.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	183,750	183,838	3.3	—	—	—	3.3
金融債券	400,000	400,320	7.2	—	—	—	7.2
	(400,000)	(400,320)	(7.2)	(—)	(—)	(—)	(7.2)
普通社債券	1,577,900	1,584,386	28.5	—	—	—	28.5
	(1,577,900)	(1,584,386)	(28.5)	(—)	(—)	(—)	(28.5)
合 計	2,161,650	2,168,544	39.0	—	—	—	39.0
	(1,977,900)	(1,984,706)	(35.7)	(—)	(—)	(—)	(35.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末		償還年月日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	比 率	
国債証券	%	千円	千円		
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,037		2016/7/15
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,801		2016/8/15
小 計		183,750	183,838		
金融債券					
い第735号商工債券	0.4	300,000	300,312		2016/8/26
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,008		2016/5/27
小 計		400,000	400,320		
普通社債券					
第490回関西電力	0.718	100,000	100,049		2016/6/20
第355回中国電力	1.52	200,000	200,774		2016/8/25
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,362		2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	201,192		2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,320		2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,640		2016/12/2
第17回ニコン	1.65	100,000	100,139		2016/6/23
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,135		2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,906		2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,705		2017/1/27
第17回電源開発	2.07	100,000	100,164		2016/6/20
小 計		1,577,900	1,584,386		
合 計		2,161,650	2,168,544		

国内その他有価証券

区 分	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,999,995	% 53.9		

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2016年5月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,168,544	% 39.0		
その他有価証券	2,999,995	53.9		
コール・ローン等、その他	394,603	7.1		
投資信託財産総額	5,563,142	100.0		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,563,142,682
コール・ローン等	389,098,836
公社債(評価額)	2,168,544,627
その他有価証券(評価額)	2,999,995,107
未収利息	3,637,299
前払費用	1,866,813
(B) 負債	672,118
未払解約金	670,530
未払利息	633
その他未払費用	955
(C) 純資産総額(A-B)	5,562,470,564
元本	5,462,308,836
次期繰越損益金	100,161,728
(D) 受益権総口数	5,462,308,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 27,329,169,583円
 期中追加設定元本額 1,544,863,883円
 期中一部解約元本額 23,411,724,630円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	249,380,519円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	334,011,007円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,042円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,363,253円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円

○損益の状況 (2015年11月21日~2016年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,329,010
受取利息	4,361,071
支払利息	△ 32,061
(B) 有価証券売買損益	△ 5,334,236
売買益	191,600
売買損	△ 5,525,836
(C) 保管費用等	△ 955
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,006,181
(E) 前期繰越損益金	504,860,995
(F) 追加信託差損益金	28,297,685
(G) 解約差損益金	△431,990,771
(H) 計(D+E+F+G)	100,161,728
次期繰越損益金(H)	100,161,728

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	217,654円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	24,781,723円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	945,824円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	3,491,872円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	47,026,508円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		10,884円
三菱UFJ	米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ	米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	20,181,510円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	109,209円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	442,974円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)		1,936,118円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)		9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)		9,829円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,347,787円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	163,666円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	978,045円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	979,977円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円

三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン C コース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン D コース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UF J / UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	357,495円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	3,874,252円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	6,588,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UF J / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,470円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円
N a v i o マネーボールファンド	1,561,630円
三菱UF J インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9,898,381円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	8,107,178円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン A コース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン B コース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
三菱UF J バランス・イノベーション (債券重視型)	365,273,064円
三菱UF J / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918,198円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138,468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UF J バランス・イノベーション (株式抑制型)	3,276,286,700円
三菱UF J DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	42,678,508円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	255,538,832円
三菱UF J グローバル好利回りCBファンド2013-09 (円ヘッジ) (限定追加型)	196,405,776円
合計	5,462,308,836円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため（分散型に分類）、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。

(2016年3月16日)